

6/15 下富岡地区自主防災会参加報告

6月15日の日曜日、旧和島地区の下富岡自主防災会の皆さんに防災講話の説明に行ってきました。下富岡自主防災会は昨年11月に結成され、公民館の前には真新しい防災備蓄倉庫が置かれており、設置業者の担当の方が点検作業をおこなっている最中でした。防災講話は午前9時予定でしたが、自主防災会の皆さん31名の方々は既に8時半には集合されていたため、予定よりも20分ほど前倒して開始しました。当会からは講師の畔上さん、自主防支援グループの照井さん、そして広報の私の計3名の参加となりました。



下富岡自主防災会は地区内の結束力も強く、親密な近所付き合いができていますので、まだ自主防災としての活動は始まったばかりですが、運営していく上での課題は少ないものと思います。ただし、地域性(山間の小集落)としての、その土地土地に適応する防災組織、防災用具、連絡体制をとる必要があります。その意味でも、日ごろ農作業等でも協力的に進められている地区ですから、今後は防災の話題を中心にコミュニケーションをはかっていただいて、みなさんでいろんな意見を出しあって防災体制を構築していただきたいと思います。区長さんからは、炊き出し訓練や専用の防災着の準備の仕方、防災関連費用などの具体的な質問をいただきましたので、畔上さん、照井さんから、地元自主防災会の事例を紹介していただきました。

6/16 水梨町自主防災会参加報告

さる6月16日午後7時半から、水梨町自主防災会の臨時集会在開催され、当会は防災講話を行うため参加させていただきました。総勢58名が参加されましたが、当日は奇しくも44年前の新潟地震が発生した日でありました(私は生まれていませんでしたが)。

当会の畔上部長、五十嵐さんが出席され、自主防災組織のあり方について講演を行いました。出席された皆さんは、自主防災会をその日立ち上げたばかりであった為、講演を熱心に聞き入っていました。

要援護者に対する個人情報取り扱い方法について、また災害が起きたときの状況に応じてサブ役員の人選も必要であるなど、地元町内での例を交えて説明があった事などからも、今後の会の運営非常に参考になったものと思います。

最後に、町内会長さんから「まだまだひよこの水梨町ではあるが、この講演を参考にこれから会を上げていきたい」との力強い感想と安全士会に感謝の言葉をいただきました。

何事も、初めての組織の運用は精神的にも肉体的にも大変な部分が多いとは思いますが、当会としましても微力ではありますが協力させていただきたいと思えます。

皆さん、がんばってください！！

